

進路について（学年懇談会資料）

1. はじめに

この資料の情報は令和7年度入試のものをもとに作成しています。令和8年度入試に向けて変更された事柄や新しい情報については、今後「進路だより」等で随時お知らせしていきますのでご確認ください。

この資料は、中学校卒業後の進路選択に関する内容を中心にまとめています。上級学校への出願等の具体的な進路手続きに関する事柄は、10月に開催する進路説明会(3年生保護者対象)にてお知らせいたします。

目次

2. 進路選択にあたって……………	2
3. 進路に関する主な日程……………	3
4. 進路決定までの大まかな流れ……………	4
5. 具体的な進路の選択肢について…	6
6. 進学を希望する場合……………	9
7. 高校選択の観点……………	10
8. 公立高校の特色について……………	14
9. 公立高校の合否判定について……………	16
10. 私立高校の入試について……………	20
11. 学費の支援制度について……………	22
12. 高等学校入学者選抜……………	23
13. 推薦による入学者選抜について…	24
14. 道外受験について……………	25

2. 進路選択にあたって

◆進路選択の前に考えておきたいこと◆

「進路を考えること」＝「自分のこれからの生き方を考えること」

これまで「義務教育」という枠の中で、中学生としての様々な経験を通して、いろいろな角度から「自分」を見つめてきました。しかし、義務教育を終えるこれからは、自分の道は自分で決めて歩んで行かなければなりません。その第一歩が中学校卒業後の「進路選択」と言えるでしょう。

既に自分の目標とする進路希望を決め計画的に家庭学習を始めている生徒がいる一方、どういう方向へ進みたいのか迷ってしまい、不安な気持ちを抱えている生徒もいます。一人一人の生徒にとってより良い進路選択が実現できるよう、ご家庭においても今後十分に話し合いを進めていただくようお願いいたします。

生徒一人一人がより最適な進路を選択するための情報を保護者の皆様に提供することによって、進路全般についての理解を深め、これからの見通しをもっていただくことにあります。今後、ご家庭で相談を進めていく際の参考にしていただければ幸いです。

【進路選択のポイント】

(1) 自分の特徴や適性の把握

・興味関心、性格、学力、運動能力、身体状況、社会性、職業適性、適応能力等を知ること。

(2) 進路に対する目的の明確化

・何を学び、何を目指し、どのように努力するのかを明確にすること。
(職業選択との関連性→キャリア教育)

(3) 家庭の状況

・家族の考え方、経済的な条件、通学時間などを考えること。

(4) 進路についての研究と相談

・各種情報を活用したり、保護者や教師としっかり相談していくこと。

※この他に、目まぐるしく変化する社会や経済の状況も考慮しなければならないのが昨今の現状です。

【高校を選択する際のポイントは？】

- ① 何を目的とし、どのようなことを学ぶために進学をするのか。
- ② 高校卒業後の進路状況はどうか。(自己の目標と照らし合わせて)
- ③ 自己の能力・適性に合っているか。
- ④ 通学の便はどうか。(時間的・経済的・体力的)
- ⑤ 諸経費はどれくらいかかるか。

進路を決定するにあたり、「入学したらこれをしたいから、将来こうなりたいから、こう頑張りたいから…〇〇高校へ進学したいです」つまりは「自分の意志と責任において決断した」と言えるようになってほしいものです。保護者はそれを精神的・経済的にサポートし、担任は必要な資料を提示して進路相談を行います。ご家庭での十分な話し合いも大切になります。

3. 進路に関する主な日程

	月	学校行事	進 路	進路事務
一学期	4	始業式、入学式 標準学力テスト 全国学習学力状況調査	◎卒業後の方向性を考える ・進学希望者は、高校卒業後の見通しをもって普通科か職業科かを考える。 ・就職希望者は、就職先を自分で探すのか、ハローワークを通すのかを決めておく。	第1回進路希望調査 交通遺児育英会募集
	5	発育測定		高校説明会・見学会
	6	修学旅行 定期テスト		「進路のしおり」配付 第2回進路希望調査 高校説明会・見学会
	7	中体連 学期末懇談 陸上競技大会 定期テスト 終業式		高校説明会・見学会
二学期	8	始業式	◎進学を希望する生徒 高校説明会などに参加し、志望する学校を絞っておく。 ◎就職を希望する生徒 職業適性検査、事業所見学、就職相談を通し、自分の適正を知る。	高校説明会・見学会 むすんでひらいて基金募集 梅津奨学院募集 北海道高等学校奨学会募集 私立高等学校入学資金貸付募集
	9	学力テスト総合A 学校祭		職業適性検査 札幌市奨学生募集 あしなが高校奨学生募集 高校説明会・見学会 第3回進路希望調査
	10	学力テスト総合B 合唱コンクール 進路説明会 定期テスト		高校説明会・見学会 似鳥国際奨学財団募集 第4回進路希望調査
	11	学力テスト総合C 推薦希望者申し出 進路写真撮影 教育相談	進学→ <u>志望校をほぼ決定</u> 就職→ <u>応募</u>	第5回進路希望調査 高校説明会・見学会 進路相談 札幌市特別奨学生募集
	12	学期末懇談 学校推薦希望者校長面接 学年末テスト 終業式	進学→ <u>志望校の最終決定</u> 就職→ <u>面接</u>	出願手続依頼書提出 面接練習 募集要項配付（公立・私立単願推薦） 願書提出（私立単願推薦）
三学期	1	始業式 学年末テスト 私立推薦・単願入試	・高専（推）受験 ・私立（推）受験 ・高専（一般）受験 ・公立（推）受検 ・有朋（推）受検 ・私立（一般）受験	願書提出（公立） 募集要項配付（私立一般） 願書提出（私立一般）
	2	公立推薦入学者選抜 私立A入試 私立B入試		私立（一般）下見
	3	公立一般入学者選抜 三送会 卒業証書授与式 公立合格発表		公立（一般）下見 入学意思確認書提出 最終進学先確認書提出 有朋（単・通）出願 第2次募集

4. 進路決定までの大まかな流れ

1 高等学校（含 通信制高等学校、国立高等専門学校）進学の場合

＜1学期＞ 授業に真剣に取り組む、しっかりとした目標を設定する。

- ①1学期中に生徒本人と保護者で、進学について十分に話し合う機会をもつ。
- ②進路希望調査などで学級担任に希望進路の意思を伝える。
- ③教育相談などを通じて、学級担任と進路相談を行う。
- ④学期末の三者懇談で、大まかな目標とする志望校と、そのために必要な学習計画などを確認する。

＜2学期＞ 自分の力を把握して弱点を補強した上で、進路を決める。

- ①学力テストA、B、Cの結果や、1学期・前期の評定などから自分の現在の学力を把握する。

【学力テストA、B、Cとは…】（3年生対象）

定期テストとは違い、全学年の範囲から出題され、公立高校の入試に合わせて国数社理英の各教科50分、100点満点、5教科合計500点満点で行う。この3回のテストで現時点での自分の学力を知り、入試当日にどれくらい得点を取れそうかを予測する参考資料とする（ABCの平均を目安とする）。学力テスト範囲表は4月に配付済み。（3年生のみ）

- ②高校ごとに行われる体験入学・学校説明会等へ参加して、その学校のことについて理解を深める。5月下旬から11月中旬にかけて開催されることが多く、複数回行う学校もある（公立高校は1回のみの高校が多い）。説明会はその都度リーフレットや「進路だより」で告知している。
※多くの学校は、Google フォームなどから各自で申込をする。興味のある高校のホームページは、定期的に確認してください。

【説明会参加の利点】

- ・ホームページやパンフレットだけでは分からない学校の仕組みや雰囲気を感じ取ることができる。
- ・自宅からの交通手段や通学時間を実感できる。
- ・個別に相談ができる（保護者も参加することをお勧めします）。

- ③能力・性格・適性・興味・学力・将来などを十分考えて、保護者や学級担任と十分に相談し、志望校・課程・学科・コースなどを決定する。

【11月】 ○二者懇談…生徒と学級担任との二者による進路相談

⇒志望校の絞り込み（志望校の仮決定）

【12月】 ○三者懇談…志望校の決定、『出願手続依頼書』の提出

⇒提出された依頼書の内容をもとに、中学校から高校へ出願手続を行う

- ④2学期中に公立高校（道立・市立）推薦受検生徒と私立高校1月受験生徒へ募集要項等必要書類を配付し、2学期末の指定日までに入学願書を中学校へ提出する。

公立高校一般受検の入学願書は3学期始業式の前日に、私立高校2月受験の入学願書は3学期開始後の指定日までに中学校に提出する。

なお、全てにおいて受験料の納入が必要となる。（道立の公立高校は収入証紙を購入）

WEB出願は各家庭で行う。各高校や教育委員会のホームページから必要事項を入力し、指定の書類（願書等）をプリントアウトする。

※公立高校は入学者選抜検査という意味で、「受検」と表す。その他の学校は「受験」と表す。

＜3学期＞

- ① 3学期が始まってすぐに私立高校2月受験の募集要項等を配付。家庭で高校のホームページから必要事項を入力し、検定料を決済する。指定の書類をプリントアウトし、中学校へ提出する。
- ② 1月下旬 公立高校の出願状況が発表になり、出願変更期間が設定される。
- ③ 2月中旬 公立高校推薦入学者選抜、私立高校一般入学試験
- ④ 2月下旬～3月上旬 私立高校合格発表(高校によって異なる。)
- ⑤ 3月上旬 公立高校一般入学者選抜
- ⑥ 3月中旬 公立高校合格発表

2 専修学校・職業訓練施設へ進学の場合

＜2学期＞（1学期は前頁の高等学校と同じ動き）

- ①体験入学に参加する。できれば親子で参加できるとよい。
- ②能力・性格・適性・興味・学力・将来などを十分考えて、学級担任と相談をし、志望校・課程・学科などを決定する。三者懇談前に学級担任と保護者との連絡の取り合いが必要となる。

3 就職の場合

＜2学期＞ 新卒応援ハローワークの募集を利用する場合（1学期は前頁の高等学校と同じ動き）

- ①事業所(職場)見学会の申し込み。見学会の実施(10月)。
- ②新卒応援ハローワークとの進路相談と職業適性検査の実施。
- ③新卒応援ハローワークからの求人一覧表、『求人情報』や事業所見学等から、保護者・学級担任・職業安定所等に相談して希望する事業所(会社)を決定。
- ④就職応募書類を新卒応援ハローワークへ発送。(応募書類には、学校生活の様子や学習成績、身体状況等が書かれている。)
- ⑤書類選考、面接選考の実施(12月)。
採用・不採用の通知は、面接選考後、通常1週間以内に届く。
※以後は事業所が決定するまで②～⑤を繰り返す。

【どのような進路を選択するとしても、大切なことは・・・】

- ①目標を定めたら全力を尽くすこと。
- ②中学校卒業後のことだけではなく、さらに先を見通して考えてみること。
- ③家族に相談して考えるが、最終的には自分自身で決断すること。

5. 具体的な進路の選択肢について

1 就職

■ 概要

- ・ 就職を希望する場合、中学校では札幌新卒応援ハローワークと連携し、就職先の決定を目指す。
- ・ 札幌新卒応援ハローワークから送られてくる「求人情報」の中から希望にあった事業所を選び、採用試験を受ける。ただし、近年は非常に厳しい状況です。道内外の事業所からの求人は数件しかなく、そのほとんどが建設業か食料品製造となっている。

■ 日程

- ・ 求人応募書類送付は12月1日からとなっている。条件の良い事業所はすぐに充足されてしまうので、早めに希望を決め、必要書類を整えて準備しておかなければならない。できれば事前に見学してみるとよい。
- ・ 書類を提出すると、事業所では、面接等の試験を行ったり、書類選考をするなどして採用・不採用を通知する。採用の場合、所定の手続きをして、就職が決まる。
- ・ 不採用の場合は、就職が決まるまで何度でも就職活動ができる。

2 職業訓練施設・専修学校・各種学校

■ 概要

- ・ 中学校卒業後すぐ就職せずに、技術を身につけるための学校。
- ・ 修業年限は1～3年となる。
- ・ 面接などによって入学の許可を行っているところもあるが、筆記試験(国語・数学など)・作文・職業適性検査などを行うところもある。
- ・ 大学受験資格が取得できる専修学校や、高等学校の卒業資格が取得できる専修学校もある。
- ・ 募集期間や試験日などは各校さまざまで、詳しくは学級担任に相談する。
- ・ 専修学校のうち、中学校卒業で出願できるのは「高等課程」である。
- ・ 札幌高等技術専門校、札幌科学技術専門学校高等課程、札幌ビューティックアカデミー、札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校高等課程、専修学校クラーク高等学院などに進む生徒もいる。

※札幌高等技術専門校（民間の建築関係の技能訓練施設）

- 学科・・・型枠専科2年コース（型枠大工科10名程度）
木造総合3年コース（木造大工科5名程度）
- 試験・・・入試問題送付→解答返送（1週間後）、面接

3 高等専門学校

■ 概要

- 5年制で高校と短大を合わせたような学校で、卒業後大学に編入の道もある。また、専門教育の一貫教育を行い、専門教科の実習については大学並またはそれ以上のところもあると言われている。
 - ・ 国立・公立・私立併せて約60の高等専門学校(以下高専)がある。国内どの高専でも受験することが可能。また、自己推薦受験の制度もある。
- 道内にも4つの高専がある。9学科設置されている。
 - ・ 函館工業高等専門学校 …生産システム工学科、物質環境工学科、社会基盤工学科
 - ・ 苫小牧工業高等専門学校…創造工学科
 - ・ 旭川工業高等専門学校 …機械システム工学科、電気情報工学科、システム制御情報工学科、物質化学工学科
 - ・ 釧路工業高等専門学校 …創造工学科
- 高専卒業後進学を目指す場合は、
 - ・ 高専の「専攻科」へ進みさらに研究を深める
 - ・ 大学へ編入する もある。
技術科学大学(長岡と豊橋)では高専教育と連携をした教育を行っている。それ以外でも、工業高専から国立大学の工学部へ進む道などがある。
- 就職をする場合は「実践的技術者」としての評価も高く、求人面でも有利な場合も多いようである。
- 受験形態は、公立高校や私立高校を併願することもできる。
 - ・ 公立高校受験前に合格発表が行われる。
 - ・ 道内の4高専は、一般受験では、通常の受験形態に加え、最大9学科(すべての学科)まで、高専間をまたがって出願する制度もある。ただし、合格した場合は必ず入学しなければならない。
 - ・ 道内の4つの高専のすべてWEB出願である。

4 特別支援学校高等部

■ 概要

視覚障がい、知的障がい、肢体不自由又は病弱のある生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育を行うために設置。

入学を希望する学校で事前に教育相談を受ける必要がある。

5 高等学校

■ 概要

令和6年3月に札幌市立の中学校を卒業して、高等学校等の上級学校へ進学した生徒の割合は、全体の98.9%に達している。しかしながら、「みんなが進学するから」「親が行けというから」「ただ何となく」などということで、はっきりした目的をもたずに高校生活を送ることは、将来に不安やあせりを残す大きな原因となる。事実、道内での高校中途退学の主な理由は、「進路変更」、「学校生活・学業不適応」が多く、進学に対する目的意識が不十分だったこと、学習の基礎・基本が不十分なことも退学の原因の1つになっている。これらのことから、高校を選択するにあたって将来を見通した「自己進路計画の一環」として考えること、また、家族や担任などと十分な話し合いをもち、より多くの資料をもとに総合的に判断して慎重にかつ現実を見つめて決定することが大切になる。

- ① 進学の目的がはっきりしていますか。

どんな目的で、どんな理由で高校へ行くのかをはっきりさせてください。高校は入学するための学校ではなく、卒業するための学校です。当然、高校卒業後の自分の人生についてもある程度考えておかねばなりません。

- ② 自分の能力・適性に合っていますか。

「受験したら合格の可能性が高いかどうか」ということだけしか考えていませんか。高校入学そのものが目的ではないはずです。入学してから3年間の高校生活を、自分の能力・適性・興味を十分生かして充実した有意義なものにできる学校であるかどうかを慎重に考える必要があります。

- ③ 高校の特色をよく調べていますか。

「教育方針」や「校風」、「卒業後の進路先」などその学校を十分研究していますか。1年生で退学者が多いのは、その高校を知らずに、目標をもたずに入学する生徒が多いことを表していると思われます。

- ④ 通学方法や交通の便などを考えていますか。

家を何時に出る何時に帰宅できるか、バスや地下鉄・JR の利便性はどうか、部活ができるかなど、おろそかにはできない問題です。

- ⑤ 高校卒業後の進路先はどうなっていますか。

その高校の卒業生の進路状況が、自分の進みたい進路と合っていますか。よく調べておかないと、後悔することになるかもしれません。また、私立大学への進学を考えている場合、公立校よりも、系列の大学への推薦枠をもっている私立高校のほうが進学しやすい場合があります。

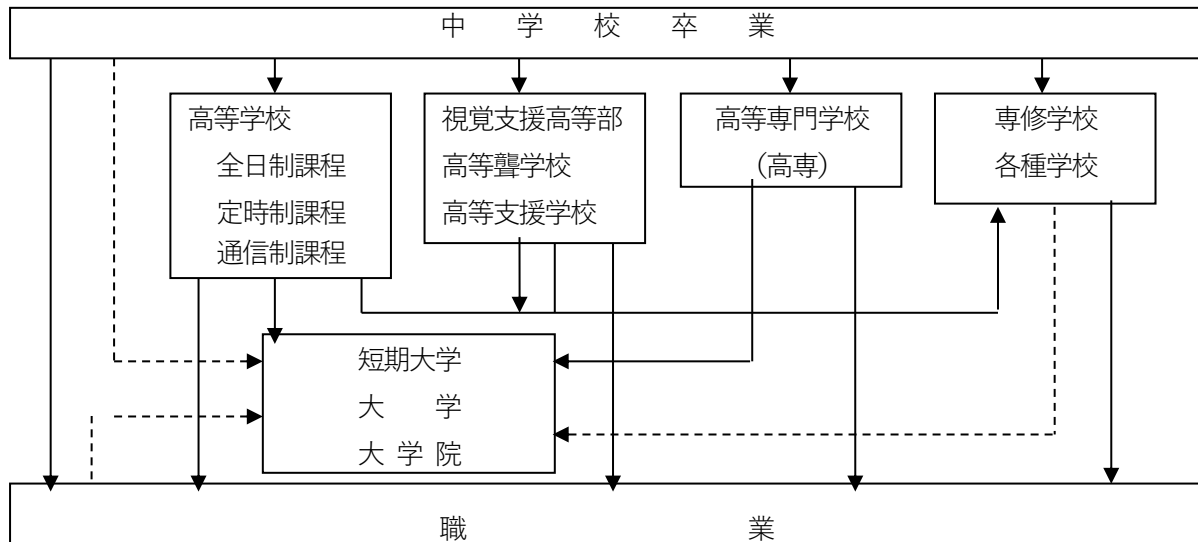
- ⑥ 経費のことを考えていますか。

学校への納入金その他、教科書代、副教材代、制服代、ジャージ代、交通費、修学旅行の積立金、部活に参加するなら部費やユニフォーム代など、募集要項に記載されていない費用があることも十分考えておかねばなりません。

私立高校の多くは、一定の成績基準を満たす生徒に対して入学金等が減額される「特待生制度」があります。詳しくは各高校のパンフレットや募集要項をご覧ください。

6. 進学を希望する場合

札幌市内では、中学校卒業生の約99%の人が上級学校に進学しています。どのような上級学校があるのか、どのような特徴があるのか知ることがとても大切です。



【高等学校】

課程別 では … 全日制、定時制、通信制

設置者別では … 国立、公立(道立・市立)、私立

学科別 では

- ・普通科
 - 普通科
 - 普通科単位制
 - 普通科専門コース(デザインアートコース、グローバルコース)
- ・職業教育や専門教育を主とする学科
 - 農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉、理数、外国語、
 - 体育、工芸、数理データサイエンス
- ・総合学科… 総合学科

公立高校（全日制）（3年制）

※道立、市立があり、願書の形式や受検料の納入方法などが異なる。下表の高校名は石狩学区のみ。

札幌市立高校	札幌旭丘・札幌新川・札幌平岸・札幌清田・札幌藻岩・札幌啓北商業 ※他は北海道立高校
学科	・単位制 …… 札幌手稲、札幌旭丘、札幌藻岩、札幌清田、札幌白石、札幌英藍、札幌東陵、札幌白陵、大麻、北広島 ・専門コース… 札幌平岸デザインアートコース、札幌清田グローバルコース ・専門学科… 札幌国際情報、札幌旭丘、札幌啓成、千歳、当別、江別、恵庭南、札幌啓北商業、札幌東商業、札幌琴似工業、札幌工業 ・総合学科… 札幌厚別、石狩翔陽、千歳北陽
費用	入学検定料 2,200 円、授業料年額 118,800 円(月額 9,900 円、教材費・制服代等は除く)

公立高校（定時制）

（4年制：単位の取り方により、3年で卒業できる高校もある。）

学科	普通科・専門学科(札幌琴似工業、札幌工業)・単位制(札幌大通、有朋)
費用	入学検定料 950 円、授業料年額 32,400 円(月額 2,700 円、教材費等は除く)

【国立高等専門学校（高専）】（5年制：道内は工業高専が、苫小牧・旭川・函館・釧路にある。）

募集	・高等学校の職業科より一層深く専門について学習し、職業に必要な能力を身に付けることができる。 ・高専卒業後さらに大学進学を希望する場合は大学に編入学することができる。公立・私立高校との併願が可能で、入試問題は公立高校とは異なる（5教科、マークシート方式）。 ・4高専全学科(最大9学科)の併願が可能。
費用	検定料 16,500 円、入学金 84,600 円、授業料年額 234,600 円、 諸費用+教科書代 110,000 円程度、寮諸経費月額 60,000 円程度

【専修学校・各種学校】（中学校卒業後就職せず、技能を身に付けるための学校）

- ・専修学校とは、小中高校・大学・高等専門学校・養護学校・幼稚園など、学校教育法第1条に規定される学校以外の教育施設で、修業年限が1年以上、昼間課程の年間授業時間が800時間以上、夜間課程の年間授業時間が450時間以上、常時40名以上の生徒を収容しているなど、一定の基準を満たし、所轄庁である都道府県知事の認可を受けた教育施設。
- ・専修学校の課程は、中学校を卒業した者を対象とする高等課程、高等学校を卒業した者を対象とする専門課程、その他の一般課程に分類され、専門課程を置く専修学校が「専門学校」となる。
- ・札幌市内にある中卒で進学できる専修学校は、札幌高等技術専門学校(白石区・2年)、札幌科学技術専門学校高等課程(東区・科学技術学園高等学校と連携・3年)、札幌ビューティックアカデミー(中央区・通信制高校と提携・2年)、札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校高等課程(中央区・3年)、専修学校クラーク高等学院札幌大通校(中央区・3年)などがある。

7. 高校選択の観点

1 高校卒業後の進路を見通して考える

①大学・短大や専門学校への進学を考える場合→普通科、総合学科へ

公立～石狩学区の普通科を基本に選択。総合学科は石狩翔陽高校、札幌厚別高校。

私立～全道どここの学校でも規制なしに受験が可能。

※普通科でも、コースで進学の方が定められる学校もあるので注意。

例) 札幌平岸 普通科 デザインアートコース

札幌清田 普通科 グローバルコース

札幌山の手 普通科 スポーツ健康コース

とわの森三愛 普通科 フードクリエイティブコース、トップアスリート健康コース

北星女子 普通科 Globalistコース、Musicコース

北照 普通科 スポーツコース

通える範囲かどうか？…距離よりも交通手段が大切。

本校からの進学者がそれ程多くなくて遠い印象のある高校でも、地下鉄の利用が可能なら実は通えるという高校がいくつもある。

◆大学へ進学する場合◆ →系列の私立大学へ有利に進むことができる高校もある。

北海	北海学園大学、北海商科大学
北海学園札幌	北海学園大学、北海商科大学
東海大学付属札幌	東海大学(札幌・神奈川)
立命館慶祥	立命館大学(京都)、立命館アジア太平洋大学(九州)
北星学園女子	北星学園大学、北星学園大学短期大学部
北星学園大学附属	北星学園大学、北星学園大学短期大学部
北海道科学大学	北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部
札幌大谷	札幌大谷大学、札幌大谷大学短期大学部
札幌日本大学	日本大学(東京他)
北海道文教大学附属	北海道文教大学(恵庭)
とわの森三愛	酪農学園大学(江別)
藤女子	藤女子大学

※上記系列校の他にも指定校推薦枠をもつ高校が多数あります。

②高校卒業後専門的な技術や資格を生かした進路を考える場合→専門学科(工業、商業など)へ

公立→全道どこでも規制なしに受検が可能。国立高専は、工業系国立大学への編入学も可能。

- ・通える範囲→琴似工業、札幌工業、国際情報(理数工学・グローバルビジネス)、札幌東商業
- ・少し遠い →啓北商業、当別(家政・園芸デザイン)、岩見沢農業
- ・家を出て寮生活→国立高等専門学校(苫小牧・旭川・函館・釧路)、
美唄聖華(衛生看護)、稚内(衛生看護)、三笠(食物調理)、
おといねっぷ(美術工芸)、置戸(福祉)、遠別農業(食品科学)など

私立→全道どこでも規制なしに受験が可能。

- ・少し遠い →北海道文教大学附属(食物)、とわの森三愛(アグリクリエイト)

③音楽、外国語、その他技能を習得し、将来的に役立てたいと考える場合→専門学科へ

公立→国際情報(国際文化)、千歳(国際教養、国際流通)、旭丘(数理データサイエンス)
啓成(理数)、恵庭南(体育)、江別(事務情報、生活デザイン)

私立→静修(ユニバーサル)、大谷(音楽・美術)

④働きながら学習したい場合→公立高校の定時制課程

- ・大通、東、西、南、北、月寒、江別、札幌工業、琴似工業
有朋(単位制による定時制課程、普通科・事務情報科)
- ・実際は、通学をしながらの正式な就職という形で雇用してくれる職場はとても少ない。
(入学後、自分でアルバイトを探すなどの覚悟が必要。)

⑤自分のペースで通学し、学校生活を送りたい場合→通信制

公立→有朋(通信制課程)

私立→クラーク記念国際、北海道芸術、星槎国際、池上学院、北海道教育学園三和、第一学院、
飛鳥未来、N高・S高・R高、ヒューマンキャンパス、トライ式 などの広域通信制高校

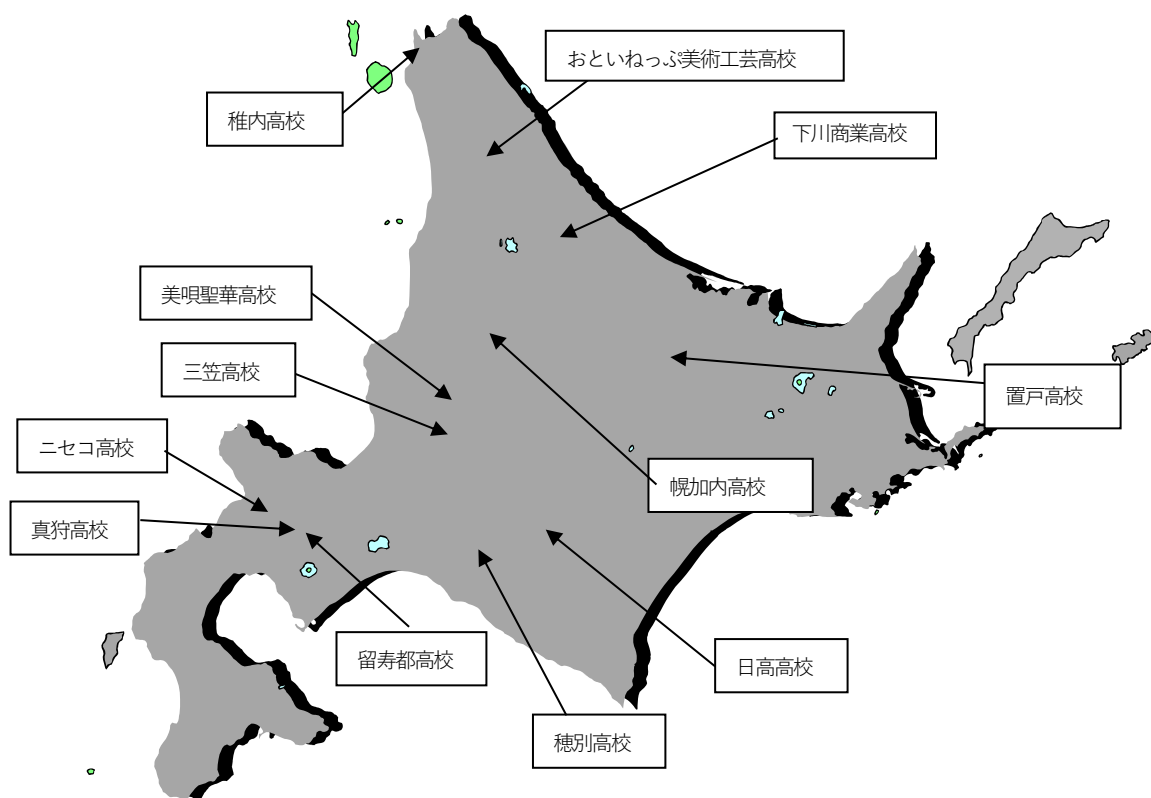
2 札幌市外の公立高校への進学（札幌市内の高校にはない特色ある教育内容を実践）

・札幌近郊にこだわらないのであれば、地方の公立高校への受検も可能。
市町村を上げて高校の運営に力を注いでいるケースも多く見られる。

【多種多様な学科のある地方の公立高校】

☆～昼間定時制

☆留寿都高校（農業福祉科）、☆真狩高校（農芸科学科）、☆日高高校（日高町産業学習）、
稚内高校（衛生看護科：5年間）、下川商業高校、三笠高校（食物調理科）、穂別高校（普通科）、
☆幌加内高校（農業科）、置戸高校（福祉科）、美唄聖華高校（衛生看護科：5年間）
おといねっふ美術工芸高校（工芸科）、ニセコ高校（総合学科） など



3 通学方法（利便性）を考える

3年間通学することを考えると、「高校の通いやすさ」ということも選択肢の中で重要な要素になる。前述のように距離だけを考えるのではなく、「交通手段」を考える必要がある。複数の高校が同じ交通機関を利用するために、かなり混み合うこともある。また、秋までは自転車で通えた高校が、雪が降って乗れなくなると、「公共交通機関の利便性が極端に悪い」という場合もある。雪道を40分以上歩いて通うことになり、暗い道は危険であるため、結局「保護者が毎日のように送り迎えをしている」という例もある。高校によってはスクールバスを利用できることもあるが、時間が限られるので制約があるという場合も。説明会に参加する時は、通学方法も確認してくることが大切。

①西区にある高校

公 立	私 立
北海道札幌西陵高等学校(西区平和) 北海道札幌琴似工業高等学校(西区発寒)	札幌山の手高等学校(西区山の手)

②地下鉄駅から徒歩で15分以内にある高校

高 校 名	地下鉄路線名	地下鉄駅名	学校まで徒歩で
北海道札幌南高等学校	南北線	幌平橋	7分
北海道札幌月寒高等学校	東豊線	月寒中央	7分
北海道札幌東高等学校	東西線	東札幌 or 菊水	14分
北海道札幌北高等学校	南北線	北24条	13分
北海道札幌西高等学校	東西線	西28丁目	15分
市立札幌平岸高等学校	南北線	澄川	7分
北海道札幌東商業高等学校	東西線	新さっぽろ	10分
札幌光星高等学校	東豊線	東区役所前	1分
北海高等学校	東豊線	学園前	直結
札幌第一高等学校	東豊線	月寒中央	5分
札幌創成高等学校	南北線	北34条	6分
札幌山の手高等学校	東西線	琴似	15分
北海学園札幌高等学校	東豊線	学園前	1分
札幌新陽高等学校	南北線	自衛隊前	7分
札幌龍谷学園高等学校	東西線	西18丁目	8分
札幌静修高等学校	南北線	幌平橋	5分
札幌北斗高等学校	東豊線	北13条東	3分
札幌大谷高等学校	東豊線	東区役所前	5分
北星学園女子高等学校	東西線	西18丁目	8分
藤女子高等学校	南北線	北18条	5分

※上記のような地下鉄通学圏内ではないが、宮の沢バスターミナルからバス1本で通える高校、最寄りの地下鉄駅やJR駅からスクールバスを運行している高校が複数ある。

8. 公立高校の特色について

1 高校の学科などについて

1 全日制普通科

- ・ 1時間50分授業で1日6時間の高校が多いが、1時間65分授業で1日5時間や1時間45分授業で1日7時間など様々な例が見受けられる。
- ・ 多くの高校では、2・3年生から「文系」「理系」や「国公立大学進学」「私立大学進学」「専門学校進学」などのコースに分かれて、自分の進路に合った学習へと発展していく。従って、高校卒業後の進路希望をある程度もっておかなければコース選択で困ったり、大学受験の際に制限がある可能性もある。
- ・ 札幌清田はグローバルコース、札幌平岸はデザインアートコースが設置されている。
- ・ 石狩学区で単位制を導入しているのは、札幌旭丘、札幌藻岩、札幌清田、札幌手稲、札幌白石、札幌白陵、札幌東陵、札幌英藍、大麻、北広島島の10校。

※札幌平岡、札幌あすかぜは、令和7年度より「普通科フィールド制」から「普通科」に転換された。

〔全日制普通科単位制〕

- ・ 国語、数学など普通教科を中心として、興味・関心や進路希望等に応じた多様な選択科目が開設されており、少人数授業や習熟度別学習など実施することで、生徒の実態や進路希望等に応じたきめ細かな学習指導を行っている。
- ・ 学年による教育課程の区分を設けず、3年間で決められた単位数を習得すれば卒業が認められる。

2 全日制総合学科

- ・ 全員が1年次に履修する科目「産業社会と人間」において、職業生活や自己の進路などについて深く考え、その実現に向けて学習計画を立案する。
- ・ 民間非常勤講師などによる特色ある科目を開設している他、少人数授業などにより多様な興味・関心や進路希望等に応じた学習が可能。
- ・ 各自の進路に応じて科目を選択し、自分で時間割を組んでいく。
- ・ 普通教科から専門教科にわたり幅広く科目を開設していることから、科目選択の目安となるよう、関連する科目のまとまりを「系列」として示している。
- ・ 石狩翔陽高校では人文・自然科学、ビジネス・情報、芸術・スポーツ、生活・福祉、札幌厚別高校では、数理、人文、音楽、美術の系列が設定されている。

3 全日制専門教育を主とする学科(普通科以外)

- ・ 「理数科」「外国語学科」「看護科」「福祉科」「数理データサイエンス科」「工業科」「商業科」「農業科」「水産科」「工芸科」「家庭科」「体育科」
- ・ 普通科に比べ、専門性のある実技教科・実習などが多く、興味・関心がなければ苦勞することになる。卒業後は、就職はもちろん、高校によっては半数以上が大学に進学しているところもある。

4 定時制の課程

- ・ 定時制は1日4時間授業で、全日制高校に比べて授業の履修数が少なく、文科省が定める高等学校卒業条件を3年間ではクリアできないため、原則として4年間通学する。
 - ・ ただし、普通科の高校では、高等学校卒業程度認定試験を受験し、不足する単位を履修するなどで3年間で卒業できる場合もある。また、農業高校に多くみられる昼間定時制は、全日制のカリキュラムと同等なので、3年間で卒業する道もある。
 - ・ 入学者の選抜は個人調査書と面接で行う。
 - ・ 札幌市内の定時制高校は、東・西・南・北・月寒・札幌工業・札幌琴似工業・札幌大通・有朋。
- ※私立高校でも定時制課程を併設している学校もあり、札幌山の手高校が、全日制課程とは別に昼間定時制課程を設置している。

5 単位制による定時制の課程

- ・ 3年以上修学し、時間割を自分でつくるのが大きな特徴。
- ・ 市立札幌大通、有朋高校がある。
- ・ 入学者の選抜は自己推薦による選抜と一般入学者選抜がある。

6 通信制課程

- ・ 自宅で学習することを前提とし、3年以上在籍。
- ※通信制課程の場合、より強い学習意識がないと続かない可能性もある。
- ※私立高校でも通信制課程を併設している学校もあり、小樽双葉、とわの森三愛、札幌静修、日本航空の各高校が、全日制課程とは別に通信制課程を設置している。

9. 公立高校の合否判定について

◆公立高校合否に必要な事項◆

- ①「学習点」 ～3年間の学年末の学習成績の合計(ランクとも呼ばれる)
- ②「学力点」 ～入学試験の得点(国・数・社・理・英の各教科100点、合計500点満点)
- ③「個人調査書」～3年間の出席状況、行事、特別活動(委員会活動・係活動・部活動など)、行動評定(学校生活の様子)、総合的な学習の時間の記録、校外活動などを記載。

④その他高校や学科によって異なるもの

- ・「面接」～人物評価として重視している学校や、学科によって英語の会話を行う学校がある。ただし面接を行わない学校についても、入試時の態度や様子を見ている。

面接のポイント…元気なあいさつ、身だしなみ、正しい言葉遣い、まじめな態度、正しい姿勢、目線・目つき、表情、ハキハキした受け答え など

- ・「実技試験」～体育・美術の学科やコースで実施。
- ・「作文」～テーマが与えられ、400字程度の文章を書く(文字や誤字も判断される。)

◎上記(①～④)の結果を総合して、合否が判定される。

※私立高校も公立高校の内容とほぼ同じだが、3教科(国・数・英)で試験が行われる学校もある。
また学力点(入試得点)以上に、学習点(ランク)や出席状況、面接の結果を重視する学校もある。
なお、国立高等専門学校(高専)は試験内容、入試得点などが全く違うので、第1希望として考えている人は、学級担任に直接確認すること。

学習点について

【計算の仕方】

1年生の学年末評定(9教科)の合計×2(2倍)
2年生の学年末評定(9教科)の合計×2(2倍)
+) 3年生の学年末評定(9教科)の合計×3(3倍)

この3つの
合計点を
学習点という。

- ・学習点をもとに20点ごとにA～Mまでに分けたものがランクである。(次ページ参照)
- ・学年末評定とは、1学期・2学期・3学期の成績の総合計で算出し、3学期に家庭に通知される成績のことを表している。1年時の評定からすでに学習点に関わっている。

(例) ある生徒の3年間の成績は次の通りである。学習点・ランクは下記のように算出される。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計	換算	学習点	
1年学年末	4	4	4	4	4	5	4	4	4	37	×2	74	
2年学年末	4	4	4	4	3	4	4	4	4	35	×2	70	合計点
3年学年末	4	4	4	3	5	4	4	4	4	36	×3	108	252

計算・・・(1年生)37×2+(2年生)35×2+(3年生)36×3=252

結果・・・学習点は252点、ランクはDとなる。(ランク表は次ページ参照)

【目標としている学習点・ランクになるための計算の仕方】

目標とする評定(9 教科)の
合計を算出

1 年生の場合

[自分のなりたい学習点 — (1 年前期評定の合計)×2] ÷ 5

2 年生の場合

[自分のなりたい学習点 — (1 年学年末評定の合計)×2 — (2 年前期評定の合計)×2] ÷ 3

(例) ある 2 年生の生徒の成績は次の通りである。

目標としている学習点・ランクにはなるため下記のように算出される。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計	換算	学習点
1年学年末	3	4	3	3	4	3	4	4	4	32	×2	64
2年前期	4	4	3	4	4	4	4	4	4	35	×2	70

計算・・・ C ランク(256点)になるには

[256-(1 年生)32×2-(2 年生)35×2] ÷ 3= 40.66・・・

結果・・・ 評定(9教科)の合計が41以上になる必要がある。

具体的には、「4」を 4 教科、「5」を 5 教科とすると C ランク(256 点)になる。

【ランク表】

ランク	学習点	ランク	学習点	ランク	学習点	ランク	学習点
A	315～296	D	255～236	G	195～176	J	135～116
B	295～276	E	235～216	H	175～156	K	115～96
C	275～256	F	215～196	I	155～136	L	95～76
						M	75～63

※3年間

オール5→ 315(Aランク)

オール4→ 252(Dランク)

オール3→ 189(Gランク)

オール2→ 126(Jランク)

学力点について

試験当日の得点も次のように段階(25段階)分けされている

	学力点		学力点		学力点		学力点		学力点
1	500～481	6	400～381	11	300～281	16	200～181	21	100～81
2	480～461	7	380～361	12	280～261	17	180～161	22	80～61
3	460～441	8	360～341	13	260～241	18	160～141	23	60～41
4	440～421	9	340～321	14	240～221	19	140～121	24	40～21
5	420～401	10	320～301	15	220～201	20	120～101	25	20～0

【学習点と学力点の相関表】～2つの表を合わせる

例) 学習点182点(Gランク)で学力点(当日点)が175点の場合、★の位置になる

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
A																									
B																									
C																									
D																									
E																									
F																									
G																	★								
H																									
I																									
J																									
K																									
L																									
M																									

相関表と合否の関係(公立高校の場合)

◆公立高校の合否判定について◆

- ・第1段階……個人調査書の内容(学習点)と学力検査の得点(入試当日点)を同等に見て判定。入学者定員の70%が該当。
- ・第2段階……学力検査の得点(入試当日点)を重視して判定。入学者定員の15%が該当。
- ・第3段階……個人調査書の内容(学習点)を重視して判定。入学者定員の15%が該当。

※第2段階と第3段階は各高校の裁量でどちらを先に行っても良いが、個人の希望ではなく、あくまでも高校の判断によるので、誰がどの段階で合格したのかは公表されない。

《選抜方法の例》

A 高校では「学力検査の成績を重視」では学力:評定=8:2

「個人調査書等を重視」では評定:学力=6:4となっていたとする。

- ・第1段階で選抜し合格とならなかった生徒全員に上記の比率で得点の換算を行う。
- ・第2段階の「個人調査書等の重視」の選抜では、(学習点×6)+(学力点×0.63×4)の計算式で得点換算し上位の生徒から合格としていく。
- ・第3段階の「学力検査の成績重視」の選抜では、(学力点×0.63×8)+(学習点×2)の計算式で点数を換算し上位の生徒から合格としていく。

学力点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
学習点		500～ 481	480～ 461	460～ 441	440～ 421	420～ 401	400～ 381	380～ 361	360～ 341	340～ 321	320～ 301	300～ 281	280～ 261	260～ 241	240～ 221
A	315～306				○										
	305～296									○					
B	295～286						○	○							
	285～276										×	×			
C	275～266						○						×		
	265～256						○	○	○		×	×			
D	255～246							○	○						
	245～236					○	○	○	○	×	×				
E	235～226														
	225～216						○	○							
F	215～206			○	○	×	×								
	205～196					×		×							
G	195～186					×									
	185～176						×								
H	175～166														
	165～156														
I	155～146														
	145～136														
J	135～126														
	125～116														

ア 相関表を用いて
募集定員の70%を
合格とする

イ 合格にならな
かった生徒の中から
募集定員の
15%を合格とする

ウ 合格にならなかつた生
徒の中から募集定員の
15%を合格とする

傾斜配点について

◆傾斜配点とは◆

学力検査結果の特定の教科に重みをつける方法。筆記試験は各教科100点満点で、5教科合計500点満点だが、例えば英語を2倍する学校の場合、英語だけは入試得点を2倍にし、200点満点として600点満点と取り扱う。その後、総得点を500点満点に換算して前述の要領で合否判定を行う。

【令和6年度公立高校入試 札幌市内における傾斜配点実施校】

札幌北	札幌国際情報	札幌旭丘	札幌清田	札幌啓成
普通	国際文化	数理データサイエンス	グローバル	理数
数・英(2.0倍)	英(2.0倍)	数・理(2.0倍) 英(1.5倍)	英(2.0倍)	数・理・英(1.5倍)

(例)札幌北高校(普通科)を次のAさん、Bさんが受検した

(上段)学力点(当日の入試得点)の合計は2人とも同じ

(下段)傾斜配点の換算後には次のような差が現れた(数・英2倍)

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
Aさん	90	96	82	98	80	446
	90	96	164	98	160	608⇒ 434
Bさん	84	86	98	82	96	446
	84	86	196	82	192	640⇒ 457

入試の合計点で、単純に合計するだけならばAさんとBさんは同点ですが、傾斜配点の制度がありますので、実際にはBさんのほうが有利になります。

10. 私立高校の入試について

◆私立高校は複数校受験が可能◆

【 一般入試日程 】

- 各高等学校はA日程・B日程のどちらかで一般入学試験を行う。従って、私立高校は2校まで受験することが可能。

【 私立高校の単願・専願・推薦入試 】

- 試験は1月中に実施され、1月中に合格発表が行われる(日程は高校により異なる)。
※出願時期は冬休み中であることが多く、書類の準備、受験料の振込など手続きに時間的な余裕がありません(例年の流れ：12月の期末懇談会で決定→2学期中に手続き完了、願書提出)。
- 合格した場合は必ず受験校に入学すること、受験校以外に他校を受験しないことが条件となる。

◆私立高校の特色◆

- ほとんどの高校でコース制を採用している。4年制の大学を目指す「特別進学コース」や、専門学校進学や就職等にも対応できる「総合コース」等が主流だが、近年特色のあるコースを設定している学校も増えたので、学校説明会やパンフレットなどでコース名やコースの内容を確認して選択することが大切である。
- 音楽、美術、英語など特定の教科に力を入れた学科・コースを設置している学校や、系列大学への推薦制度が充実している学校もある。また、部活動に力を入れている学校も多い。

◆学費について◆

- 入学時にはおおむね25万円程度、授業料が毎月 33,000 円程度かかる。
- 教材費や施設設備費、ICT 利用費、修学旅行積立費など、学校生活に必要な費用が徴収される。
- 国の「高等学校就学支援金制度」と道の「私立高校授業料軽減補助制度」により、所得に応じて高校教育に関わる経済的負担の軽減が図られる。 ※令和8年度の制度の詳細な説明は後日。
- 学校独自の特待生制度や奨学金制度、授業料減免の制度が適用される場合がある。

◆受験の形態について◆

- 単願(専願)…基本的には、希望の私立高校を1校のみ(公立高校も受験しない)を受験する形態のことをいう。学校によっては他校の併願を認めている場合もあるが、合格した場合は必ず入学することが条件となっている。単願、専願は、高校により呼び名が異なる。
- 併願…公立高校を含め複数の高校を受験することをいう。(進学希望の順位に関わらず)

◆合否判定について◆

私立高校にはそれぞれ独自の教育方針がある。入試において学習点と学力点を用いることは公立高校と同じだが、その運用の仕方は私立によってかなり違う。また、同じ私立でもコースや学科によって選抜方法が変わってくる場合がある。主に次のような方法がある。

①学習点(ランク)を重視して判定

3年前期の評定(学習点)を重視する私立高校が多い。もちろん、著しく低い当日点や面接の結果しだい、不合格の可能性もある。多くの私立高校では、「学習点が合格基準として設定されている数値を上回っているかどうか」を重視している場合が多い。

②当日の入学試験の成績を重視して判定

当日の入試点数のみで該当コースの合否判定する高校もある。この場合は、学習点が高くても当日点が低ければ、そのコースでは不合格(下位のコースでの合格)ということになる。

※欠席日数、面接、部活動、委員会活動、資格試験(英検など)を重視

- ・多くの私立高校で、「欠席日数は〇日以内」という基準を設けている。この日数は私立によって変わってくるが、中学校3年間で30日以内という基準が多い。理由がはっきりしている場合(入院など)は、「欠席理由書」の提出を求められることが多い。欠席日数を問わない私立高校も中にはあるが、数は少ない。
- ・1月受験(推薦・単願・専願)では、面接試験を実施する学校が多く、中学生としてふさわしくない服装や態度で受験に臨み、不合格になるケースもある。日頃から気を付けることが大切。
- ・部活動優秀者(具体的な実績を問われることが多い)、委員会活動等で活躍をした者、英検などの有資格者を優遇する場合がある。

◆授業料等の軽減について◆

高等学校等就学支援金(国から支給、授業料のみが対象) + 授業料軽減補助金(道から支給、授業料 + 維持費が対象)

具体的な例: 札幌創成高等学校(2024年度のもの)

年収基準(目安)	授業料	維持費	諸費	軽減額(月額)	実際の納付額
本来納める金額	33,000円	2,000円	2,000円		37,000円
年収590万円未満	0円	0円	2,000円	35,000円	2,000円
590万円～910万円程度	23,100円	2,000円	2,000円	9,900円	27,100円
年収910万円以上	33,000円	2,000円	2,000円	0円	37,000円

※令和8年度の制度の詳細な説明は後日。

11. 学費の支援制度について

参考 授業料等の具体例

■公立高校		全日制	定時制	備考
	入学検定料	2,200 円	950 円	
	入学金	5,650 円	2,100 円	
	授業料（月額）	9,900 円	2,700 円	（該当者のみ）

■私立高校		
	受験料	15,000 円～17,000 円
	入学時校納金	105,200 円～350,000 円
	校納金（月額）	36,300 円～64,500 円

1 授業料への支援

保護者等の年収目安	590 万円未満程度	910 万円未満程度
公立高校	授業料相当額（月額）	
私立高校	最大 35,000 円（月額）	9,900 円（月額）

2 授業料以外での補助（奨学のための給付金）

学校	対象	年間の一人あたりの支給額
公立高校	生活保護受給世帯	全日制・定時制 32,300 円 通信制 32,300 円
	生活保護受給世帯または 住民税非課税世帯	① 第1子の全日制・定時制高校生 122,100 円
		② 第2子以降の全日制・定時制高校生 143,700 円
		③ 通信制高校生 50,500 円
学校	対象	年間の一人あたりの支給額
私立高校	生活保護受給世帯	全日制 52,600 円 通信制 52,600 円
	生活保護を受けていない 非課税世帯	① 全日制高校生（②を除く） 142,600 円
		② 2人目以降の全日制高校生 152,000 円
		③ 通信制高校生 52,100 円

3 その他の奨学金・私立高校入学資金貸付制度

進学の意志があり、心身・学業ともに優れていながら、経済的に苦しく学資を出すことが困難な生徒、家庭を援助する制度がある。

中学生のうちに申請・手続きするものだけでなく、高校入学後に申請の機会があるものもある。また、返還しなければならないものもある。進路だよりや高校入学後の書類をこまめに確認することが必要。

※令和8年度の制度の詳細な説明は後日。

12. 高等学校入学者選抜

1 出願の形態

(1) 出願できる学校

以下の学校を受検（受験）することができる。

公立高等学校（道立or市立）…全日制・定時制・通信制や
普通科・専門学科・総合学科などがある。
受検できるのは1校のみ。

私立高等学校……受験パターンは3通り

- └ A日程を1校
- └ B日程を1校
- └ A日程とB日程の両方を1校ずつ→2校

国立高等専門学校……1校のみ

※すべて受検（受験）日程が異なる。最大4校（公立・私立AB、高専）の受検（受験）が可能。

「併願」→公立高校と私立高校を併せて出願する。

「専願」→公立高校も併せて出願できるが、**その私立高校を第一希望とする。**

「単願」→**1校のみ出願する。**（私立高校を1校のみ受験する場合をいう）

1月下旬の受験の「**早い単願**」と、2月中旬（一般受験と同じ日）の

「**遅い単願**」がある。「単願」なので**その私立高校にのみ出願する。**

「推薦」→高専は1月中旬、私立高校は1月下旬、公立高校は2月中旬に試験がある。

私立高校と高専・公立高校の推薦基準は異なるが、中学校長の推薦を受けて
出願とする「推薦」と「自己推薦」がある。

(2) 出願できる学科

出願できる学科は、道内の公立高校では、**1つの高校の1つの学科に限る**と定められている。全日制と定時制、普通科とそれ以外の学科などに同時に出願できない。

※私立高校は学校ごとに設置されている学科やコースを第2志望等にできることが多い。

普通科以外の学科のある公立高等学校（石狩地区）

工業科	琴似工業（全学科）・札幌工業（全学科）・国際情報（理数工学）
商業科	東商業（全学科）・啓北商業（未来商学）・江別（事務情報） 国際情報（グローバルビジネス）・千歳（国際流通）
家庭科	当別（家政）・江別（生活デザイン）
農業科	当別（園芸デザイン）
理数科	啓成（理数）旭丘（数理データサイエンス）
体育科	恵庭南（体育）
外国語科	国際情報（国際文化）・千歳（国際教養）
総合学科	石狩翔陽・厚別・千歳北陽

※次の場合、「第2志望」又は「第3志望」が認められる。

2つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、同一課程の他の学科を第2志望とする場合に「第2志望」、3つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、第1志望および第2志望以外に、同一課程の他の学科への入学を併せて希望する場合に「第3志望」が認められる。

13. 推薦による入学者選抜について

1 推薦入学者選抜制度の趣旨

北海道教育委員会が定めた規定

高等学校が、期待されている社会的役割を果たし、目指すべき学校像を実現するために、また、中学生が「入学者の受入れに関する方針」に合った学校に出願できるようにするため、推薦による入学者の割合を（範囲内で）学校ごとに決めることとし、あわせて、中学生が自己推薦できるようになる。

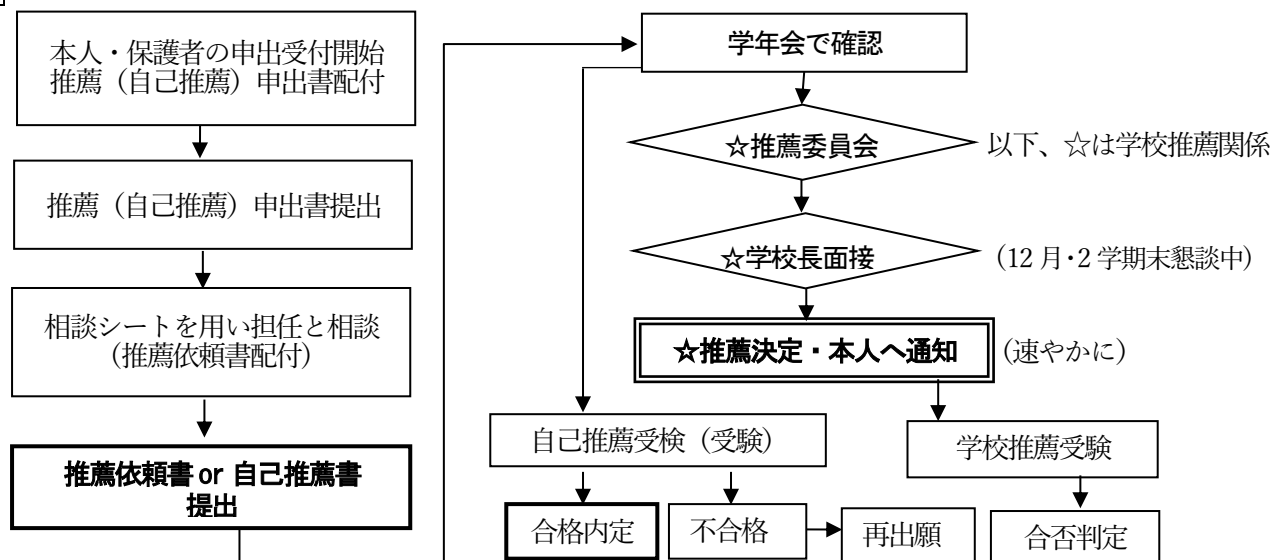
※受検機会が1回増えるから、筆記試験がないので・・・などという趣旨の選抜ではありません。

2 出願資格

本校の推薦基準 ※「自己推薦」は、中学校内での資格審査は行いません。

- (1) 第1志望であり、合格したら必ず入学すること。
(ただし、札幌日本大学高等学校の自己推薦Ⅲはこの限りではない。)
- (2) 出願する動機・目的・理由が、明確で適切であり、適性・興味・関心及び学習意欲が充分にあること。
- (3) 出願先の高校が示した条件や基準を十分に満たしていると中学校の様々な場面で判断できるもの。
 - ① 公立高校において、「入学者の受入れに関する方針」、学科やコースへの適性を満たしていること。また、入学後もその高校の学習についていけるもの。
 - ② 私立高校においては、その学校の出願条件を満たすこと。
 - ③ 高等専門学校においては、各校が定めるアドミッション・ポリシーや成績などの基準を満たす生徒であること。
- (4) 出願先の高校に3年間（高専の場合は5年間）きちんと在学し、卒業することが確実にできると見込まれるとともに、様々な活動場面で中心的な活躍が期待できること。
- (5) 3年間の中学校生活において、生活・行動面で問題がなく規範意識が充分と認められること。
- (6) 本人の希望と保護者の希望が一致しており、両者からの依頼に基づくものであること。

3 出願の流れ



14. 道外受験について

道外の高校を受験する場合は基本的に保護者の方が手続を進めることになります。北海道では受験手続の大部分を中学校が行うことが多いです。しかし、他県では保護者の責任で受験手続を進めるのが一般的です。なお、中学校を通して受験手続をしなければならない学校を希望する場合は、その旨を早くに中学校へお知らせください。

道外受験の意志を申し出ているご家庭が既にありますが、今後新たに可能性が出てきたときは、すぐに担任の先生に伝えてください。いかなる理由があっても受験校は日程の遅れを認めてくれません。間違いないように中学校と保護者の方の双方が連携を取ることが大切です。

◆公立高校と私立高校◆

公立高校は全国で1校しか受検することができません。したがって、他県の高校を受検するときは北海道の高校を同時に受検することはできません。公立高校の入試システムは都道府県によってかなり異なっているので、日程や手続きなどに注意が必要です。また、どの都府県でも「出願資格の認定」を受けなければ出願できません。

また、私立高校の場合は全国どこでも複数受験することができますが、手続き日程が早いことが多いので、やはり注意が必要です。

◆受験校の決定◆

受験に関して確認した情報は必要に応じて担任の先生を通じてお知らせしていきます。しかし、道外の高校は受験者が過去にいないことがほとんどであるため、具体的に資料を提示できないことが多いです。従って、受験校の決定はご家庭で判断するようお願いいたします。

◆ご家庭にお願いしたいこと◆

- ①受験校への問い合わせ、資料請求、願書の取り寄せ、受験手続など、道外受験に関する手続を保護者の方が行うことになるので、日程に気をつけて早めに動いてください。
- ②出願時に必要な個人調査書などの書類は中学校で作成します。時間がかかる場合がありますので、早めに担任の先生に申し出てください。
- ③公立高校の場合は県外受検の事前説明会が開かれることがありますので、必ず保護者の方が出席してください。県によっては保護者の持ち込みで出願を受け付け、郵送不可場合があります。
- ④受験校の情報を積極的に集めてください。主に次のような方法があります。
 - 【受験校】 受験を考えている高校へ直接問い合わせると、色々と教えてくれます。
 - 【教育委員会】 公立高校の場合は受検先の教育委員会にも問い合わせてください。
 - 【インターネット】 受験校や受検先の教育委員会の HP に色々と情報があります。
 - 【受験情報誌】 他県の高校の情報が載っていますが、近隣だけで発売されることが多いです。
- ⑤転居がいつになるのか、正確な住所はどこになるのか、早めに担任の先生に伝えてください。
- ⑥受験校の近隣に情報収集などを行ってもらえる知人などがいると心強いです。
- ⑦その他、ご家庭で確認されたことは担任の先生にも伝えてください。